

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 橋本 眞奈美

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

### 【授業のねらい】

- ①社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。
- ②相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。
- ③相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。

### 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	シラバスの説明、児童（虐待・貧困を含む）①事例の理解と実技指導
2	児童（虐待・貧困を含む）②相談援助場面及び過程の理解
3	児童（虐待・貧困を含む）③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
4	ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）①事例の理解と実技指導
5	ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）②相談援助場面及び過程の理解
6	ひとり親家庭・家庭内暴力（D.V）③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
7	低所得者①事例の理解とアセスメント
8	低所得者②相談援助場面及び過程の理解
9	低所得者③チームアプローチを活用したプランニング
10	ホームレス・ニート①事例の理解とアセスメント
11	ホームレス・ニート②相談援助場面及び過程の理解
12	ホームレス・ニート③社会資源の活用・調整・開発についての理解
13	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 更生保護
14	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）
15	振り返りとまとめ（面接場面の理解、プランニングに至るまでの過程の理解）

### 【履修上の注意事項】

社会福祉士の相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加すること。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。

### 【評価方法】

授業態度、積極的姿勢から20%  
課題レポートの提出&内容から30%  
試験から50%

### 【テキスト】

『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店

### 【参考文献】

必要に応じて配布、もしくは指示する

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 福崎 千鶴

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

### 【授業のねらい】

他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に関わる知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。①総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る付帯的な相談援助事例を体系的に学ぶ。②個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイ等）を中心とする演習形態により実施する。ソーシャルワーク実践力をつける。

### 【授業の展開計画】

- 1回目 シラバスの説明、演習Ⅰ・演習Ⅱの学びの共有、アイスブレイキング、アセスメントシートの説明
- 2回目 児童（虐待を含む）に対する支援について事例を理解する（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 3回目 児童（虐待を含む）の相談援助場面および過程の理解（社会資源の活用）
- 4回目 児童（虐待を含む）の相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 5回目 ひとり親家庭・家庭内暴力（DV）の事例を理解する（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 6回目 ひとり親家庭・家庭内暴力（DV）の相談援助場面および過程の理解（社会資源の活用）
- 7回目 ひとり親家庭・家庭内暴力（DV）の相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 8回目 低所得者の事例の理解（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 9回目 低所得者の相談援助場面および過程の理解（社会資源の活用）
- 10回目 低所得者の相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 11回目 ホームレス・ニートの事例の理解（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 12回目 ホームレス・ニート相談援助場面および過程の理解（フェイスシート、ジェノグラム・エコマップ作成）
- 13回目 ホームレス・ニート相談援助の実技指導（ロールプレイング、モデリング）
- 14回目 更生保護の事例の理解と相談場面を想定した実技指導
- 15回目 危機状態（権利擁護を含む）の事例の理解と相談場面を想定した実技指導 まとめ

### 【履修上の注意事項】

社会福祉士の相談援助場面を想定した実技指導を含む演習形態の授業のため、教員からの発言を求めたりロールプレイングを中心に授業を展開する。また、相談援助職に必要な知識・技術・価値・倫理を修得するため、専門領域の特別講師による講話を取り入れる。

「演習」科目であり、参加型の授業形態ということで、毎回の出席は必須と考えてほしい。与えられた課題に積極的に取り組み、予習・復習(60分程度)を行い、次の講義に臨むこと。

### 【評価方法】

出席日数が3分の2以上あり、ペーパーテスト50%および授業参加態度（予習・復習を活かした発表等）50%により評価する。

### 【テキスト】

『社会保障の手引 平成31年度版 一施策の概要と基礎資料一』中央法規

『ソーシャルワーカーのための成年後見入門—制度の仕組みが基礎からわかる—』ミネルヴァ書房

### 【参考文献】

『ステップファミリーのきほんをまなぶ—離婚・再婚と子どもたち—』金剛出版  
授業開講時に適宜紹介する。

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 隈 直子

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 演習

単位数 2

### 【授業のねらい】

①社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、具体的な援助場面を想定した実技指導やグループワーク等を通して実践的に習得することができる。②総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てることができる。③相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性を把握できる。

### 【授業の展開計画】

- 01 シラバス説明。
- 02 児童(虐待を含む)①事例の理解と実技指導
- 03 児童(虐待を含む)②相談援助場面及び過程の理解
- 04 児童(虐待を含む)③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
- 05 ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V)①事例の理解と実技指導
- 06 ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V)②相談援助場面及び過程の理解
- 07 ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V)③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
- 08 低所得者①事例の理解と実技指導
- 09 低所得者②相談援助場面及び過程の理解
- 10 低所得者③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
- 11 ホームレス・ニート①事例の理解と実技指導
- 12 ホームレス・ニート②相談援助場面及び過程の理解
- 13 ホームレス・ニート③アセスメントからプランニングまでの理解と実技
- 14 事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 更生保護
- 15 事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 危機状態(権利擁護活動を含む)
- 16 振り返りとまとめ(面接の過程の理解、プランニングに至るまでの過程の理解)

### 【履修上の注意事項】

相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加することを求めます。授業前には、次回授業の内容を確認し、資料や講義科目のテキスト等を読んでおくこと(60分)。授業後は、授業内容をふり返し、分からなかった専門用語等を確認すること(60分)。

### 【評価方法】

授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、課題レポートおよび学期末時の課題が50%とします。

### 【テキスト】

授業開講時に指示する。

### 【参考文献】

授業時に紹介する。

## 相談援助演習Ⅲ

担当教員 田島 望

配当年次 3年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。①総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。②具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を獲得することができる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む） ①
2	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む） ②
3	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む） ③
4	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV) ①
5	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV) ②
6	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV) ③
7	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者 ①
8	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者 ②
9	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者 ③
10	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート ①
11	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート ②
12	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート ③
13	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 更生保護
14	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）
15	ふり返りとまとめ

## 【履修上の注意事項】

- ・相談援助演習Ⅰ・Ⅱを修得済であることを前提とする。
- ・演習形態の授業であるため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加（発言）を求めます。
- ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（60分）。
- ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（60分）。
- ・講義を積み上げて、ねらいの達成、実習の充実を目指すため、出席は必須と考えてください。

## 【評価方法】

演習の参加態度と授業内の課題への取り組み（40%）、課題レポート（30%）、学期末総合課題（30%）により評価します。

## 【テキスト】

講義内にて、適宜紹介・配布します。

## 【参考文献】

講義内にて、適宜紹介します